

薩摩川内市 バイオマス産業都市構想 【提案書】



平成28年7月
鹿児島県薩摩川内市



第1章 地域の概要

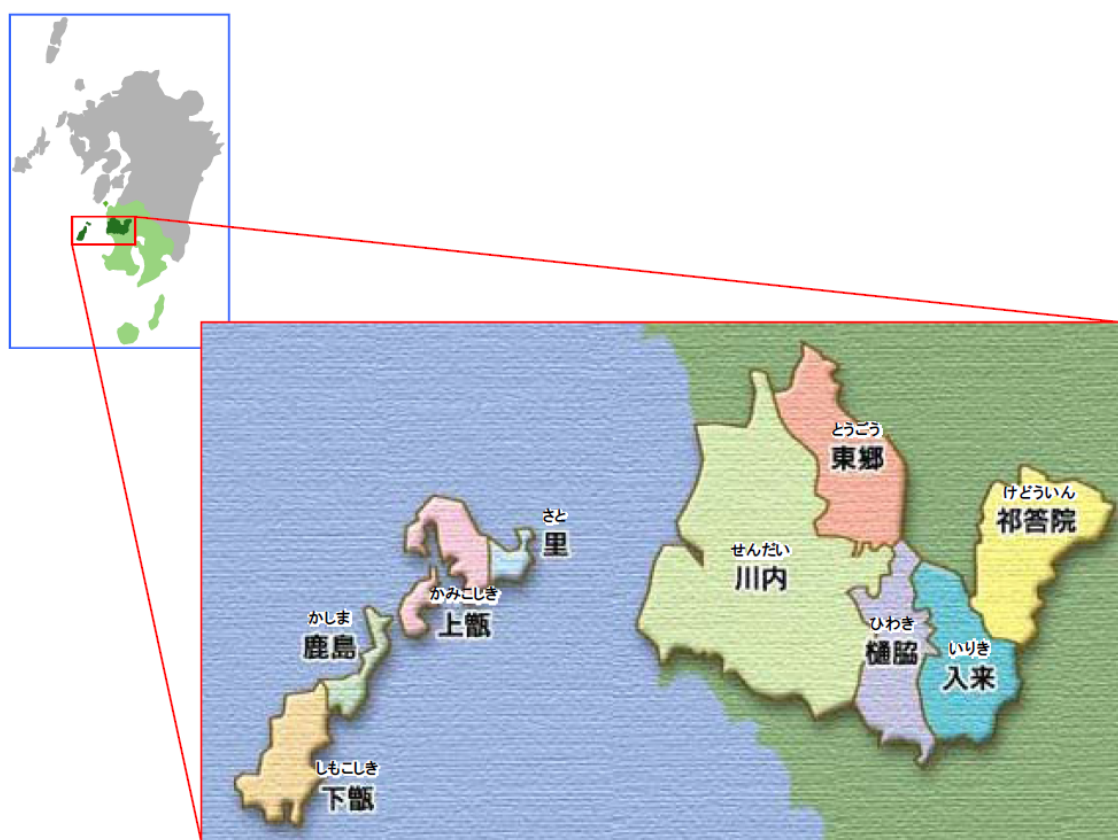
1-1 対象地域の範囲

本構想の対象範囲は、鹿児島県薩摩川内市全域とする。

薩摩川内市は平成16年10月12日、川内市・樋脇町・入来町・東郷町・祁答院町・里村・上甑村・下甑村・鹿島村の1市4町4村が合併して誕生した。

薩摩半島の北西部に位置し、南は県都鹿児島市といちき串木野市、北は阿久根市に隣接する本土区域と、上甑島・中甑島・下甑島で構成される甑島区域で構成されている。

図表：薩摩川内市の位置



出典：薩摩川内市次世代エネルギービジョン

1-2 作成主体

本構想の作成主体は、鹿児島県薩摩川内市とする。

1-3 地理的・経済的・社会的な地域の特徴

1-3-1 社会的特色

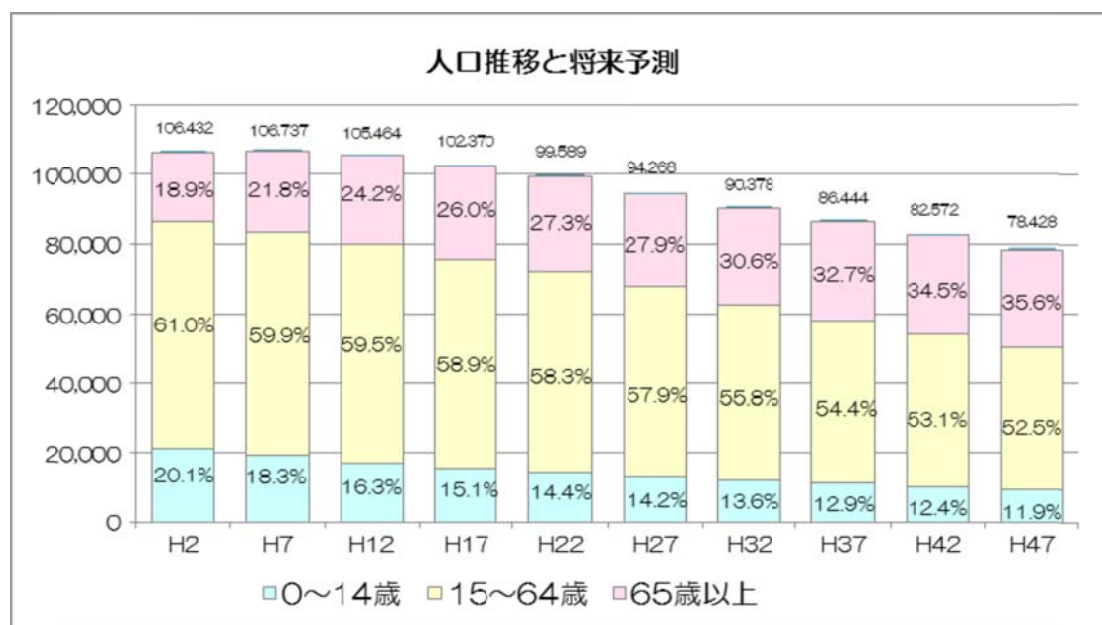
(1) 沿革

平成 16 年 10 月 12 日、川内市・樋脇町・入来町・東郷町・祁答院町・里村・上甗村・下甗村・鹿島村の 1 市 4 町 4 村が合併し、薩摩川内市が誕生した。本庁舎を旧川内市役所とし、旧町村に支所を配置している。

(2) 人口

本市における人口は、平成 7 年付近をピークとして減少を続けている。今後 20 年で総人口は急激に減少し、さらなる少子高齢化が進み、全人口の約 4 割を 65 歳以上が占めるようになると推計されている。

図表：人口推移と将来予測



資料：国勢調査、人口推計はコーホート要因法により算出

1-3-2 地理的特色

(1) 位置・地勢

本市は薩摩半島の北西部に位置し、南は県都鹿児島市といちき串木野市、北は阿久根市に隣接する本土区域と、上甑島、中甑島、下甑島で構成される甑島区域で構成されている。

本市の総面積は約 683.50km²で県内第 1 位であり、鹿児島県の総面積(9,044.49km²)の約 7.6%を占めている。市域の約 66%※を林野、約 8%※を耕地が占め、川内川等の 1 級河川、蘭牟田池などの湖沼、白砂青松が美しい海岸線など多種多様な自然景観が存在する。

(※2010 年世界農林業センサスより)

注)面積は「平成 23 年全国都道府県市区町村別面積調」国土地理院より記載。

(2) 気候

平成 25 年の年間平均気温は 17.6 度、最高気温 36.5 度、最低気温-3.1 度と比較的温暖で、気候面では恵まれている。しかし、降雨量は 1,898.5 mmと多く、また、台風常襲地帯にあるため、強風や豪雨により家屋被害や道路決壊等の災害が発生している。

(3) 交通体系

本市は、国・県の出先機関が集中する南九州の拠点都市と位置付けられ、国道 3 号、国道 267 号、国道 328 号、J R 九州新幹線、肥薩おれんじ鉄道などの幹線が通る交通運輸の要衝ともなっている。また、平成 23 年 3 月に九州新幹線鹿児島ルートが全線開通したほか、南九州西回り自動車道などの高速交通網の整備も進められ、南九州の拠点都市としての機能の充実が図られつつある。

また、中国・韓国及び東南アジアとの貿易・流通の拠点としての将来性のある川内港を有しており、九州新幹線鹿児島ルートや南九州西回り自動車道等の高速交通体系との相乗効果により、南九州西岸地域の拠点となる国際貿易港としての発展が期待されている。

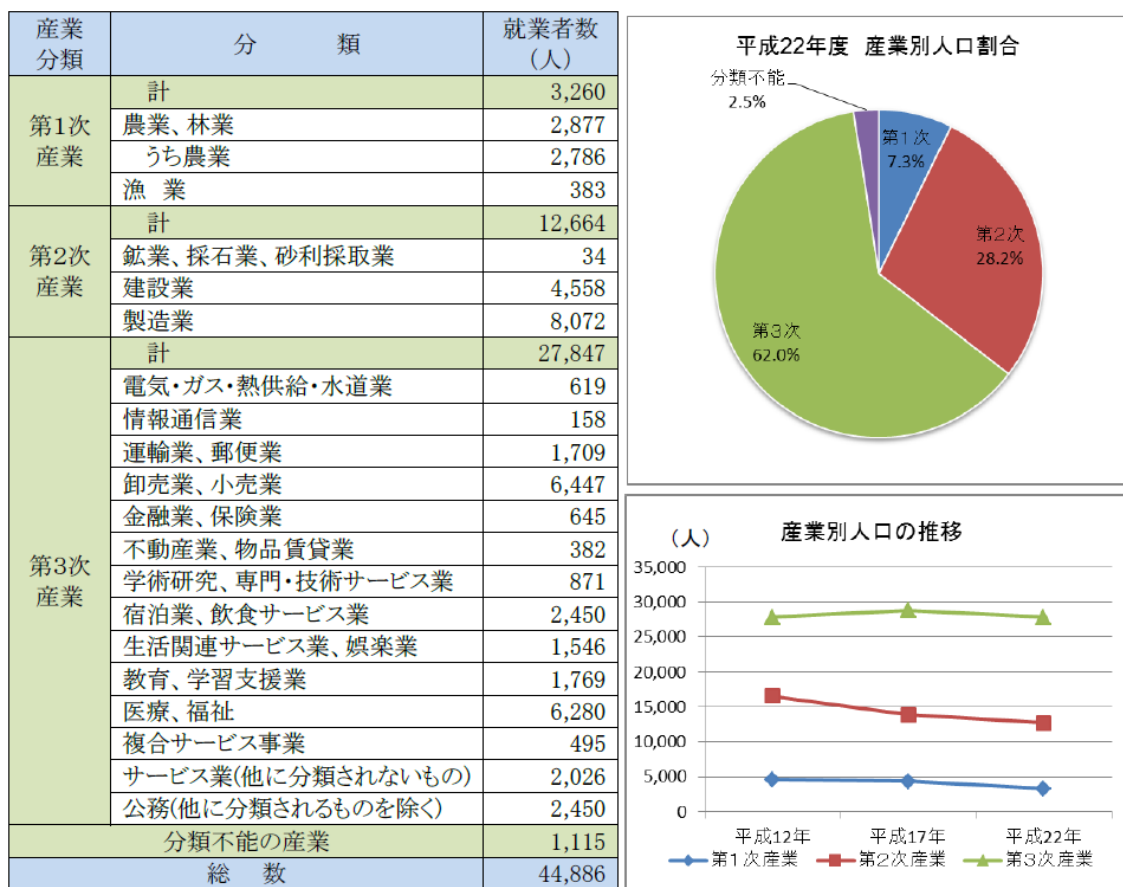
1-3-3 経済的特色

(1) 就業構造

本市における産業構成割合を就業者数で見ると、第1次産業が 7.3%、第2次産業が 28.2%、第3次産業が 62.0%と、第3次産業が約6割を占めている。

平成12年からの産業別の就業者数の推移をみると、第1次産業、第2次産業は、いずれも減少傾向である。

図表：薩摩川内市における就業構造



資料：国勢調査

(2) 農業

本市における主要農産物及び果樹の生産量は、下記の図表に示すとおりである。
本市における水稻収穫量は県内で2番目に多く、県全体収穫量の約1割を占めている。また、果樹類は温暖な気候のため柑橘類の生産が多い。

図表：主要農産物収穫量

(単位：ha、t)

年 次	水稲		ラッキョウ		ゴボウ		やまのいも	
	栽培面積	収穫量	栽培面積	収穫量	栽培面積	収穫量	栽培面積	収穫量
平成 24 年	2,160	10,210	19	276	25	220	8	90
平成 25 年	2,140	10,900	19	301	25	220	8	92
平成 26 年	2,080	9,630	17	270	24	222	8	106

年 次	イチゴ		ゴーヤー	
	栽培面積	収穫量	栽培面積	収穫量
平成 24 年	5	94	10	146
平成 25 年	4	93	10	164
平成 26 年	4	84	9	149

出典：「統計さつませんだい(平成 27 年度版)(平成 28 年 3 月、薩摩川内市)

図表：果樹栽培面積収穫量

(単位：ha、t)

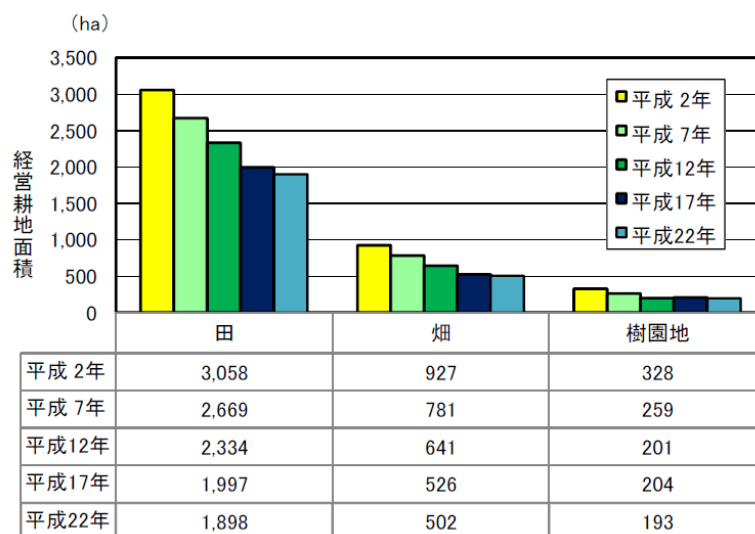
年 次	温州みかん		サワーポメロ		ハウスきんかん		ブドウ	
	栽培面積	収穫量	栽培面積	収穫量	栽培面積	収穫量	栽培面積	収穫量
平成 24 年	65	736	9	180	15	223	24	230
平成 25 年	60	713	9	180	14	274	22	184
平成 26 年	60	713	9	180	14	309	22	184

出典：「統計さつませんだい(平成 27 年度版)(平成 28 年 3 月、薩摩川内市)

農業生産の基盤となる田・畑・樹園地の経営耕地面積は、平成 2 年以降減少傾向にある。特に、田の経営耕地面積の減少が著しく、20 年間で耕作水田面積の約 1/3 に当たる 1,160ha が減少している（下記図表参照）。

耕作放棄地の面積は平成 23 年度現在で、1,892ha となっている（出典：薩摩川内市農業委員会資料）。

図表：経営耕地面積（販売農家）の推移（H2～22 年）



出典：農林業センサス

(3) 林業

鹿児島県の森林面積は、県土の約 65%を占め、森林面積は全国第 12 位、九州第 1 位となっている。

また、鹿児島県は日本一の竹林面積を誇り、全国有数の竹林資源保有県でもあるが、その中において、薩摩川内市は県内で 2 番目の竹林面積を有している。

本市の森林面積を、針葉樹は人工林、広葉樹は天然林が多く、竹林はここ数年増えてきている状況である。

図表：薩摩川内市の森林面積の推移 (単位：ha)

年 次	総面積	針葉樹		広葉樹		竹林
		人工林	天然林	人工林	天然林	
平成 24 年	40,681	19,049	44	704	18,503	1,698
平成 25 年	40,681	19,049	44	704	18,503	1,698
平成 26 年	42,131	18,889	51	681	19,572	2,156

出典：「統計さつませんだい(平成 27 年度版)(平成 28 年 3 月、薩摩川内市)

図表：所有形態別林野面積 (単位：ha)

ア 国有林

年 次	計	林野庁	官行造林地	文部科学省	その他省庁
平成 24 年	4,027	3,329	572	0	126
平成 25 年	4,027	3,328	573	0	126
平成 26 年	4,006	3,321	559	0	126

出典：「統計さつませんだい(平成 27 年度版)(平成 28 年 3 月、薩摩川内市)

イ 公私有林

年 次	計	県営林	市有林	私有林
平成 24 年	40,681	410	5,785	34,485
平成 25 年	40,681	410	5,785	34,485
平成 26 年	42,131	416	5,776	35,938

出典：「統計さつませんだい(平成 27 年度版)(平成 28 年 3 月、薩摩川内市)